



H18.12.1 1220  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行=指導部漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 平成18年度天草共販入札会が終了

本会の平成18年度天草共販事業は、11月29日開催の第9回入札会をもって終了しました。なお、今回の入札結果及び本年度の取扱累計は次のとおりです。

今回の入札結果 = 数量：14,922kg(597本) 取扱金額：11,342千円 平均単価：7,601円(10kgあたり) 最高入札額：8,690円(10kgあたり) <産地/仁科浜・銘柄/汐岡まくさ一等> 本年度取扱累計 数量：158,877kg(6,383本) 取扱金額：194,794千円 平均単価：12,260円

### 2. 平成18年度県漁業士認定委員会開催される

県水産振興室では11月29日、本県漁業の中核的漁業者となり得る青年を青年漁業士、更に優秀な漁業経営を行い地域の漁業後継者の育成に役割を果たしている者を指導漁業士として認定するために、漁業関係者、学識経験者及び県関係者が出席し、県漁業士認定委員会を開催しました。

その結果、本年度は次のとおり、指導漁業士2名が審査の結果承認されました。

岩瀬清敏氏(稲取/一本釣) 堀内英明氏(浜名/船曳網)

なお、認定式は明年1月17日もくせい会館で執り行われます。

### 3. 沼津港で浮上式防波堤の実証実験見学会が開催される

国土交通省中部地方整備局などが開発中の直立浮上式防波堤の実証実験見学会が11月29日、沼津港外港で行われました。

同整備局は本年度、沼津港で直径1.4m、高さ10m以上の鋼管が、海中で一回り大きな鋼管に格納されている浮上式防波堤1本を試験的に埋設しました。直立浮上式防波堤は、従来の固定式防波堤とは異なり、異常時は海底下に収納した鋼管内部に遠隔操作によって空気を送り込み、鋼管を海上3m余の高さまで浮上させ、普段は防波堤が水中に収納できるため船舶の航行が可能となるなどのメリットが期待できるものです。

今回の実証実験は、実海域における実績がないことから、耐久性の検証と施工法等を確認するために行われ、今後は想定される活用のあり方に応じ、その実用化のために必要とされる技術課題の検討を進めていきます。

### 4. 平成17年度末の漁村における汚水処理人口普及率44%

水産庁ではこのほど、平成17年度末の汚水処理人口普及率について、漁港背後にある5,000人以上の約4,700集落の漁村において調査を行い、その結果を公表しました。

それによると、漁村における汚水処理は、各都道府県が策定した「都道府県構想」に基づき、集落排水施設、公共下水道、浄化槽等によって効率的、効果的に分担し進めています。平成17年度末の汚水処理人口は、平成16年度末から7.2万人増加し109.5万人となり、普及率は44%となりました。

処理施設内訳では、処理人口109.5万人のうち、漁業集落排水施設が16.1万人(0.9万人

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

増)、公共下水道が59.8万人(4.4万人増)、農業集落排水施設は7.7万人(0.5万人増)などで、漁業集落排水施設は、全体の14.7%(前年度末は14.9%)を占めています。

漁村における汚水処理人口普及率については、毎年確実に整備が進んでいるものの、未だに都市(小都市(14年度末データ:63%)、町村(同:52%))に比べ大きな格差があります。このことから、平成12年度から展開している漁村リフレッシュ運動を通じてより一層、水産庁、地方公共団体、関係団体が一致協力し、漁村における漁業集落排水施設等の整備促進を図るなど漁村の生活環境改善を必要としています。

### 5. 瑞穂丸(静岡)が漁船海難遺児育英会へ寄付

このほど、静岡漁協所属の瑞穂丸船主・故永田成明氏(享年76才)の遺族より、漁船海難遺児育英会に10万円の寄付が寄せられました。

故人永田氏はシラス船曳網漁業を営む一方で、シラス加工にも携わり、地域漁業や水産加工業の振興・発展にも尽力されました。

なおこの浄財は他の募金とあわせて、後日本会より同育英会へ送金します。ここに故人のご冥福をお祈りするとともに、謹んでお礼を申し上げます。

### 6. 県水産試験場に黄金色のスッポンが搬入される

県水産試験場に11月24日、焼津市内の住民が、石津防波堤でイカ釣りをしていたところ黄金色のスッポンが掛かったため、同試験場に持ち込みました。

県水試では、持ち込まれた黄金色のスッポンを調べたところ、甲の長さ15cm、体重238gで目が赤いことから、黒色素が発現しない突然変異のアルビノと判断し、県内の観賞魚問屋に問い合わせたところ、人工養殖したアルビノスッポンが入荷し販売されていることから、飼育されていたものが逃げ出したとみえています。このスッポンは、健康状態を観察した後、展示室で一般公開される予定です。

### 7. 第12回静岡県青年・女性漁業者交流大会開催のお知らせ

本会では明年1月19日、もくせい会館(静岡市)において「第12回静岡県青年・女性漁業者交流大会」を開催します。

今大会は、平成19年度から始まる新たな水産基本プログラムの「静岡県漁業の次代を担う「人」・「組織」づくり」をテーマとした、シンポジウム形式で行います。

大会では、県の水産基本政策プログラムの視点について(県水産振興室村中室長) 山口県の新規就業者支援制度の先進事例報告(県水産振興室今井副主任) 農業分野の取り組みについて(JA伊豆の国営農事業部太田次長)話題提供が行われるほか、パネルディスカッション、県立焼津水産高校の生徒による研究成果発表を行います。

### 8. 会議・日程(12月5日(火)~12月18日(月))

- 既報分省略 -

12月 7日(木) 県漁業振興基金 = 中部地区栽培推進協議会(仮)設立準備会(県水産会館)

12月 8日(金) 県信漁連 = 理事会 (県水産会館)

" 県漁連 = 理事会 (県水産会館)

" 県機船底曳網組合 = 役員会 (ブケ東海)

12月12日(火)・14日(木) 県遊漁船業協会 = 安全指導講習会 (浜名漁協・静浦漁協)

12月15日(金) 県旋網漁業者協会 = 役員会 (伊豆の国市)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう